

20周年だよ、全員集合！

シンポジウム らっと!ラット! R a t !!

基調講演 ラット発生工学技術の軌跡 (平林真澄 生理研)

- ◆ ラット着床前胚の新たな体外培養法 (仮) (中村和臣 鳥取大)
- ◆ ラット初期胚の超低温保存 その理論と実践 (江藤智生 実中研)
- ◆ 生殖工学技術によるラットの個体復元と表現型への影響 (仮) (遠藤整 東海大)
- ◆ MCW Gene Editing Rat Resource Centerの紹介 (滝澤明子 Medical College of Wisconsin)



教育講演 1

マウスを中心とした生殖工学技術を振り返る (安齋政幸 近畿大)

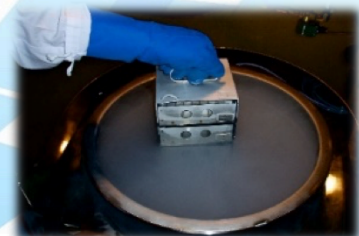
教育講演 2

配偶子・初期胚培養液の開発 - 黎明期、暗黒時代、ルネッサンス、
そして現在の安定期まで - (仮) (鬼頭靖司 名古屋大)



The next step for 生殖工学

- ◆ 動物実験施設における生殖工学技術を用いた研究支援 (中島竜之 琉球大)
- ◆ マウス過剰排卵処置におけるPMSG投与のタイミングについて (仮) (外丸祐介・神崎道文 広島大)
- ◆ マウス・ラット発生工学を支えるツールの紹介 (仮) (柳美穂・川辺敏晃 アーク・リソース)
- ◆ ブタの繁殖技術を用いたマイクロミニピッグの実験家系の構築 (仮) (大竹正剛 静岡県畜産技術研)
- ◆ マウス精子における精子膜反応について (渡邊仁美 京都大)
- ◆ 129 系統マウス由来ES細胞における安定な自己複製の遺伝的な要因 (大塚哲 金沢医科大)
- ◆ 附属感染症モデル研究センターにおけるマウス生殖工学支援について (宮地均・北野さつき 京都大)
- ◆ 実験動物としての有袋類オポッサム (仮) (清成寛 理研)
- ◆ 新潟大学での発生生殖工学 (小田佳奈子 新潟大)



詳細は、実技協関東支部ホームページに掲載
事前登録 7月22日～

会期：2019年11月16日(土)10:00～18:00 (受付：9:30～)、
会場：慶應義塾大学医学部 東校舎講堂(新宿区、JR信濃町駅徒歩1分)、
参加費：事前(会員1千円、非会員2千円)、当日(会員2千円、非会員3千円)
学生(5百円)、意見交換会(1千円)
事前登録：実技協関東支部HPにて受付



協賛：アーク・リソース株式会社、ネッパジーン株式会社
お問合せ先：日本実験動物技術者協会関東支部 REG部会 宛
(実技協関東支部HP内、REG部会問合せフォームにて受付)